

平成 27 年度 第 2 回大崎町総合教育会議 議事録

1. 日時 平成 27 年 11 月 25 日（水）14 時～15 時 20 分まで
2. 場所 庁舎 2 階応接室
3. 出席者 東町長
藤井教育長
溝口教育委員長・林教育委員・二見教育委員・福島教育委員
【事務局】
総務課（千歳課長・本高課長補佐）
管理課（上橋課長）
社会教育課（中村課長）
4. 会次第
 - 1 開会
 - 2 町長あいさつ
 - 3 協議
 - (1) 学校教育・社会教育における重点施策の推進について
 - (2) 信頼される学校づくりの推進について
 - (3) その他
 - 4 その他
 - 5 閉会

本高補佐

開会に先立ちまして、今回の会議に 2 名の傍聴希望がありますが、規定に基づきまして非公開にする必要がある場合を除いては公開ということですので、傍聴を許可してもよろしいかを議長の町長のほうで諮ってください。

町長

この会は、原則公開という規定がありますので、公開ということによろしいでしょうか。満場一致により、公開ということにします。

本高補佐

開会

第 2 回大崎町総合教育会議を始めます。開会のあいさつを町長よりお願いします。

町長

開会のあいさつ

本年 4 月 1 日に地方教育行政の運営に関する法律の改正が施行され、その主な内容の 1 点目が教育長の任命にあたっては、議会の同意を得る事、2 点目が学術及び文化の振興に関する施策の大綱を地方公共団体が定めることを義務付けられたということを受けて、平成 27 年度から 31 年度までの 5 箇年の教育大綱が定められました。3 点目が総合教育会議を地方公共団体の長が召集することとなったことであります。教育に関しては、教育長を中心に教育委員会が方向性を決めていくという認識を持っていたので、このような総合教育会議が設けられることは、意義あることと思っております。

教育を受けた子どもたちが将来社会を支えていくということで、家庭、学校、社会で子

どもたちを育てていかなければならないと考えております。また、環境を作るための施策を考えなければならぬと考えており、格差社会の中で子どもたちが同じ教育環境にいられるような社会づくりも大きな課題だと認識しています。

地方創生の総合戦略計画の中で、平均点を5点上げるという目標を掲げておりますので、その下支えをしていかなければならないと考えています。

本日は、よろしく願いいたします。

本高補佐

本日の議事は、「学校教育・社会教育における重点施策の推進について」と「信頼される学校づくりの推進について」となっております。総合教育会議設置要綱の規定により、町長が議長となりますので、以降の進行は町長をお願いいたします。

議長（町長）

まず「学校教育・社会教育における重点施策の推進について」を議題とします。事務局より説明をお願いします。

上橋管理課長

本年10月に地方創生に取り組むための指針となる大崎町総合戦略を策定しました。この中の重点施策について協議していただきたいと存じます。大崎町総合戦略の数値目標である5年間の合計特殊出生率1.81%以上の維持及び出生者数500人以上の維持について教育委員会独自の具体的な取組を説明します。1点目は、郷土を愛する心を育てるための教育実践ということで、関連イベントの延べ参加者人数3,000人を目標としており、具体的には、青少年育成事業、チャレンジ・春のウォーキング実施事業、郷土愛を育む講演会実施事業、「大崎学」推進事業です。この事業は継続事業となっており、この事業の内容を充実させることで目標を達成するものです。次に基礎学力の向上に資する教育の実践について、全国学力調査の平均点数5点以上の上昇という高いハードルの目標を掲げておりますが、実施事業としては、学力・人間力向上対策事業とコミュニティスクール導入事業の新規事業と指導力向上研修事業を予定しています。最後のICTを活用した情報活用能力の育成については、KPIとしてICT活用授業時間数1人あたり週5時間以上としており、タブレット学習導入事業と電子黒板・デジタル教科書導入事業の新規事業を予定しております。

説明の中であった新規事業について、説明します。学校教育における重点施策の推進について、仮称で学校力向上対策事業と掲げております。目的は、地域人材を活用した土曜学習講座や不登校の児童生徒を対象としたフリースクール、タブレット学習の実証実験、コミュニティスクールの導入を検証し、様々な方向から総合的に学校の魅力を向上させることとしております。内容は、学力・人間力向上対策事業として、土曜学習講座や不登校の児童生徒を対象としたフリースクールを開設し、その児童生徒の自立を促す取り組みを進めるものです。土曜学習講座の導入としては、試験的に中学生を対象として事業を進め、検証した後、小学校も対象にしていく方針です。事業費の概算は、1回3時間を月に2回程度した場合は、土曜学習講座で860,000円です。フリースクールは、NPOや学習塾などが行う形態もありますが、今回は公的機関が開設するもので、公的施設に教室を設置し、学習を支援しながら、学校へ登校できるようになることを目的としたものです。このフリ

ースクールは出席扱いとし、同時に家庭訪問をすることで包括的にサポートできるものです。土曜学習講座とフリースールの講師に適切な人材が確保できるかが課題となっています。

コミュニティースクールモデル事業は、学校が抱える課題を地域、保護者、学校、教育委員会が共有、連携して地域で支えられる学校づくりを実現することが目的です。現在、各学校には、学校評議委員会というものもありますが、この学校評議委員は、校長のアドバイザー的な立場であるのに対して、コミュニティースクールでは、ある一定の権限が与えられるという違いがあります。保護者や地域住民の方が権限を持って学校づくりに参画し、地域で学校をよりよいものにしていくという狙いの制度です。この事業のモデルとして大崎中学校を指定し検証していきます。

タブレット学習モデル事業は、全国的にICT教育の例としてあげられ、特に複式学級において、効果を発揮するものと思われます。複式学級では、先生が直接指導できない時間があり、自主学習の中で学ぼうという姿勢の向上が期待されます。複式学級のある学校をモデル校として指定し、試験的に導入してみます。そのメリットデメリットを検証し、今後の方針を検討します。また、現在設置されています。パソコンも入替えの時期を迎えています。ことから、これからどのような端末を導入していかないといけないかも検討する必要があります。

電子黒板・デジタル教科書導入事業は、今年度小学校にデジタル教科書と電子黒板を導入しています。来年度中学校が教科書の入替えがあるため、中学校のデジタル教科書の導入に向け現在検討中です。

議長（町長）

皆様の意見があれば、お伺いします。

大崎町総合戦略の中でチャレンジ・春のウォーキング実施事業は、子どもを対象とした事業になっていますか。

教育長

親子を対象としている事業であり、前回は150人が参加しました。まだまだ参加者を増やしていきたいと考えています。2時間半ぐらいかけて歩くコースで非常にいいコースだったと思います。

議長（町長）

基礎学力の向上の関係で、全国学力調査の平均5点上昇について、小学校では、平均点以上、中学校では平均点以下という状況を踏まえて質問がある方はいませんか？

溝口教育委員長

土曜学習講座などは個々の学力向上に非常に有意義なものと思われました。予算など財政的にも厳しい状態ですが、必要なもの最低限は考慮してほしいと思います。

千歳課長

来年度以降の予算編成は、総合戦略に則って編成していく町長の意向があり、また子育て、教育予算は優先していくことを検討しています。

議長（町長）

総合戦略の中で策定しています。ため、実現可能な事業には、予算をつける考えです。

議長（町長）

フリースクールなどのことについて、質問などはありますか。

教育長

現在不登校児が小学生1名、中学生が十数名います。鹿屋の大隅学舎に通っている子が数名おり、志布志市や曾於市が実施しています。以前、教室に参加させてもらえないか相談したら、市外は受け入れられないとのことで、本町でもできないかと考えていました。学校側もこのことは非常に助かることだと考えていますが、もし作っても生徒が来るかが分からないところです。

曾於市の教室に大崎町の教員OBが行っていますが、楽しみながら指導していますとのことでした。

議長（町長）

曾於市に行かれている先生は、委託としてやっているのですか。

教育長

おそらく、市からの委託としてやっているのだと思います。

福島委員

タブレット導入が学力向上に繋がるのかが疑問に思います。

上橋課長

タブレットの導入が学力向上に直結するとは考えていません。今回は、パソコン室に設置されています。パソコンが古くなったことから、入替えの時期を迎えています。ため、取外しのできるタブレットを入れることでパソコン室でもパソコンとして使えるし、教室では、デジタル教科書と連携して使えるというメリットがあると考えております。さらに、複式学級においては、先生が指導できない時間にタブレットを使って間接的に指導できるようになると考えています。

教育長

文科省の指導の中でもタブレット導入の話は前から出ており、タブレットを使った授業も近隣でもちらほら見られるようになってきました。本町の子どものその波に折り遅れるわけにはいかないと考えており、モデル的に学校を指定して実施し、その効果を検証していきたいと考えます。

議長（町長）

いろいろ意見がありましたが、以上で総合戦略に関連する議題は終わります。次に、「信頼される学校づくりの推進について」事務局より説明をお願いします。

上橋課長

信頼される学校づくりの推進は、大崎町教育大綱の中での施策となっております。本会では、開かれた学校づくりの中の「地域が学校を支援するための体制づくりの推進」について、皆様にご意見いただきたいと思います。学校では、学力向上やいじめ対策など学校における課題は山積みになっており、学校、保護者、教育委員会だけでは限界があるため、地域が学校を支援する体制づくりについてご意見いただければと思います。

(コミュニティスクールの制度の概要とコミュニティスクールの取組で広がる魅力及び、全国市区町村での指定状況について説明。)

議長（町長）

このコミュニティスクールは、法律に規定されるものなので、構成員の権限は強いのですか。

教育長

そのとおりです。

議長（町長）

人数的には何人ぐらいでの構成ですか？

教育長

10人から15人ぐらいの構成です。

溝口委員長

学校だけでは解決できない問題を地域で解決していく取り組みは非常にいいと思います。人材の確保が課題になるのではないかと思います。

林委員

学校だけの限界はあると思うので、保護者や行政の協力も是非お願いしたいと思います。

二見委員

地域の人が学校に関わることで、愛着もわいてくると思います。このコミュニティスクールは未知な部分があるが、モデル的に進めていって作っていければいいと思います。

福島委員

コミュニティスクールの導入の賛成は全員と同じです。中沖小学校は、地域の人が学校に関わっていると思うので、モデル校としてなることが考えられます。反対に、地域が関わっていない学校をどのようにして地域を巻き込んでいくかが課題だと思います。

議長（町長）

コミュニティスクールを導入することに皆さん賛成とのことですので、コミュニティス

クールについては取り組んでいくということによろしいですか。(全員賛成)

議長(町長)

どこをモデルにしますか?

教育長

大崎中学校をモデル校としていこうと思います。

議長(町長)

大崎中学校をモデル校として進めていってよろしいですか。(全員賛成)

議長(町長)

その他で何かありませんか。

教育長

大崎町総合戦略の中にありました、全国学力調査平均5点上昇について、目指すべき目標ではありますが、実現にはかなりハードルが高いものと思われるため、努力目標として解釈してほしいと思います。

議長(町長)

その他は、ありませんか。

他の自治体の児童生徒と交流するということは考えていませんか。ロケット基地がある南種子町などとの交流を通して子どもたちに夢を持つ機会を与えることもいいと思います。今後の検討材料にしてください。

議長(町長)

以上で議事のその他を終了します。

本高課長補佐

閉会

本会は、年に2回程度の開催となっておりますので、次回の会は来年度とさせていただきます。以上で本日の会議を終了いたします。